

【OIE 情報】台湾における口蹄疫（A 型）の発生について

平成 27 年 5 月 11 日
動物衛生課

台湾（金門県）における口蹄疫（A 型）の発生について、2015 年 5 月 8 日付けで OIE へ緊急報告がありましたのでお知らせいたします。

本報告では、臨床症状は報告されておられません。

出典：OIEウェブサイト（2015年5月8日付け）

http://www.oie.int/wahis_2/public/wahid.php/Reviewreport/Review?reportid=17682

（OIE情報は更新・差替えが行われる場合がありますので、出典元も併せて御確認下さい。）

【概要】

- ・発生数：1 件（緊急報告）
- ・発生日：2015 年 4 月 13 日
- ・OIE への報告日：2015 年 5 月 8 日
- ・血清型：A 型

【発生状況】

- ・発生場所：金門県（きんもんけん）金寧郷（きんねいきょう）の農場

【動物種】	【飼育頭数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
牛	176	1	0	1	0

【疫学情報】

- ・感染源：不明又は調査中
- ・定期的な血清学的サーベイランスによって金門県の農場の 2 頭の牛で非構造たん白質（NSP）抗体反応が検出された
- ・地域の疾病コントロールセンターにより、移動制限及び臨床検査並びに血清学的及びウイルス学的試験に供するための血清及び咽頭ぬぐい液の採取を行うため、これらの牛の由来農場を追跡
- ・由来農場内の全ての牛は口蹄疫の臨床徴候を示さない健康な状態であった
- ・2015年5月1日に再検査したところ、最初の検査でNSP抗体反応が検出された2頭のうちの1頭でNSP抗体反応が引き続き検出
- ・2015年5月2日、陽性牛は地域の疾病コントロールセンターにより予防措置として淘汰された
- ・2015年5月8日の国立研究所で行われたPCRの結果、当該陽性牛で口蹄疫ウイルスの核酸に陽性反応を示した
- ・陽性PCR検体は再検査され、得られた生成物を分析した
- ・2015年5月8日、国立研究所により本件は最終的にA型口蹄疫感染であると確認された
- ・詳細な遺伝学的及び系統学的ゲノムシーケンス分析により、本株は2013年に中国・広東省で分離されたA型株と非常に近縁（99%の相同性）

- ・ 感染農場の全ての牛及び近隣農場の100頭の牛は淘汰予定
- ・ 周囲の偶蹄類動物の農場の疫学調査及びサーベイランスを実施予定

【対応】

- ・ 隔離
- ・ 国内における移動制限
- ・ スクリーニング
- ・ ゾーニング
- ・ 施設等の消毒実施
- ・ 発生に応じたワクチン接種を実施しない
- ・ 患畜を治療対象としない
- ・ 淘汰予定

【診断】

- ・ 診断施設：家畜衛生試験所（国立研究所）
- ・ 診断法：RT-PCR、遺伝子配列確認：陽性（2015年5月8日）

【発生地図】

